

様式9-1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	くりくま保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会		

平成20年10月29日

総 評	<p>くりくま保育園は、1976年に宇治市大久保団地の中に、「地域住民の福祉に貢献できる保育園を」「入所する子どもの最善の利益を追求し、人間性豊かに保育し、保護者が安心して子どもを預け、働き続けられるように」「地域に根をはる、地域住民によるみんなの保育園」として地域住民により設立され、32年になります。住宅地の中ですが、ゆったりとした敷地と、大きく成長した多くの緑に囲まれた自然豊かな環境の保育園です。</p> <p>園庭の遊具等も温かみのある自然木の安全な器具・機材で整備され、その中を、園児たちが明るく、元気に遊んでいる姿が印象的でした。</p> <p>各クラスの担任は、2人体制（ベテランと新人）で、常に目と手と心が、行き届くように配慮され、経験豊かな30年勤務や20年以上職員が10名もおられ、親子でくりくま保育園の同じ先生にお世話になるというケースもあるそうです。</p> <p>地域との交流も盛んで、「あそぼうクラブ」では園庭やプール遊びを、「のびっこクラブ」では子育ての悩み等を保育士と話し合います。また「育児相談」も催され、地域の子育てセンターとしての役割も担っています。地域の皆さんに親しまれる保育園として高く評価されています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> * 園の設立時からの方針として個人の連絡帳や保育室内での園児の製作作品の展示がありません。家庭からは「連絡カード」が、担任からは「クラス通信」が毎日あり、個別の連絡帳や展示作品で我が子だけを観るのではなく、クラス全体の子ども様子の様子を知ること、お互いに子ども全体の成長発達を向上させていこうという方針で取り組まれています。勿論、必要な時に自由に見ることが出来るよう配慮されています。 * “どろんこと太陽”の下、子ども達が生き生きと、裸足で広い保育室の中を、また、広い園庭を元気に明るく動き回っています。挨拶や声かけもしっかりされて、まさに、その子ども達に“どろんこと太陽”を実感いたしました。 * 年中裸足でいられるということは、園内・園外共に清潔であり、危険物は無く、安全で快適な環境整備が行き届いています。保育室は、毎日3回以上も職員が雑巾掛けをされて、ヒノキ材の床はピカピカです。そして、冬場対応に備えて床暖房設備があります。又、各保育室には、年齢に応じた排泄設備等が整い、清潔に管理され衛生面・発達育成面の考慮があります。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> * 日々子どもを第一にした保育が理念や計画の下に援助されていますが、それらの記録の整備・見直しが十分ではありません。アセスメントからモニタリングまでのPDCAサイクル管理を充実し、それらの記録を活かした分析・評価等を行い、諸々の計画や職員研修等に活かされることが望まれます。 * 経験の長い職員の知識や技術を生かしての「くりくま保育園」独自のマニュアルの整備や見直しをしていくことも、より一層の職員の連携や資質の向上に役立つのではと思います。 * 地域の中から生まれた地域に密着した保育園ではありますが、定期的にアンケートを取られることにより、現在の保護者の気持ちや思い、希望を知り、より一層「子どもたちに最善のものを」という保育につなげて行かれてはいかでしょうか。 <p>くりくま保育園の益々の発展を期待いたします。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	くりくま保育園
施設種別	保育園
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成20年10月29日

I 福祉サービスの基本方針と組織

【共通評価基準 評価結果対比シート】

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	C	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	B
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

<p>I-1-(1)①②:くりくま保育園の法人の理念、保育所の理念、保育理念、そして基本方針が明文化されています。</p> <p>I-1-(2)①②: 理念や基本方針が正規職員については周知されていますが、2時間パートの職員や地域の住民に理解を促すまでの取り組みは充分ではありませんでした。</p> <p>I-2-(1)②: 職員の資質向上に向けて、保護者との連携、地域子育て支援活動の充実、園舎の安心安全及び老朽化対策等の、短期・中期・長期の事業計画が策定されています。</p> <p>I-2-(2)①②: 事業計画は職員や利用者に周知されていますが、計画の策定に関しては、広範な職員の参画による策定に課題が残されています。</p> <p>I-3-(1)①: 管理者の役割と責任を職員に理解されるように積極的に取り組み、文書化もされています。</p> <p>I-3-(1)②: 法令遵守については、研修会に参加し、その報告を職員研修等で行い、積極的に取り組まれています。</p> <p>I-3-(2)①: 今年度に園長として就任され、保護者に安心して頂くことを目標にして、さまざまな機会をとらえての質の向上に意欲と指導力を発揮されています。</p> <p>I-3-(2)②: 事務所会議、職員会議、上下半期会議、研修会等で、常にリーダーシップを発揮して、経営や業務の効率化や改善に向けて取り組まれています。</p>
--

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

II-1-(1):「経営懇談会」にも参加して意見交流も行き、専門情報誌も参考にして全国的な保育の仕組みの変化や、経営環境の厳しい状況にも対応されています。

II-2-(1)①②:質の確保の為に人材に関しては、理事会で討議検討されていますが、客観性や透明性の確保が十分ではありませんでした。

II-2-(2)①②:職員の就業状況(年休消化・時間外労働データ等)も定期的にチェックし、病休者についても専門機関との連携や配慮がなされ、福利厚生事業にも積極的に取り組んでいます。

II-2(3)①②③:質の向上に向けた研修に対する基本姿勢は明示され、研修計画も策定されていますが、一人ひとりへの具体的、継続的な取り組みや見直しに、課題が残されています。

II-2-(4)①②:実習生の受け入れに関しては、後進者を育てるという立場で積極的に受け容れられ、マニュアルに基づき育成されています。

II-3-(1)①②:子ども達の生活が裸足ですので、日々の行動に危険がないような安全確保の取組があり、感染症発生時や緊急時の体制も、わかり易く、迅速対応可能な状況にあります。

II-4-(1)①②③:地域に園の施設を開放(夏のプール、遊ぼうクラブ)し、園の行事(納涼祭、バザー等)でも交流し、子育ての悩みを一緒に考え、地域の子育て支援センターとしても機能しています。

II-4-(2)(3):青少年育成協議会等で連携し、府営西大久保団地連合自治会にも参加し、子育てニーズの把握・福祉ニーズの把握をして、中、長期計画に明示し、活動されています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的な評価を行う体制を整備している。	B	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			C	C	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	B	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	B	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	B	

【自由記述欄】

Ⅲ-1-(1)①: お互いの人権の尊重や個性の尊重を明示し、一人ひとりの様子を日々の中でとらえて、それに基づいて指導計画を作成し、人権学習の研修にも積極的に参加しています。

Ⅲ-1-(1)②: プライバシー保護に関するマニュアルは作成されていますが、職員の研修等の取り組みに関しては課題が残されています。

Ⅲ-1-(2)①②: 行事後のアンケート、参観、懇談会で意見を聞き、検討・対応されていますが、保護者の意向に配慮する仕組みや定期的な取り組みには課題が残されています。

Ⅲ-1-(3): 相談や意見を述べやすい環境を園便りや、送迎時等を活用して整備し、苦情解決の仕組みの周知や取り組みも行われていますが、定期的にマニュアルの見直しをしていかれる事も必要です。

Ⅲ-2-(1): 質の向上に向けた取り組みは現在検討中であり、今回の第三者評価についても、職員間で課題の共有化を図り、改善策・改善計画を実施することを課題とされています。

Ⅲ-2-(2)(3): 「排泄」「授乳」「送迎」等保育場面マニュアルが各クラスごとに整備され、サービス実施の記録も適切に行なわれていますが、情報開示に関する規定がありませんでした。

Ⅲ-3-(1)(2): サービス選択に関する情報は、地域新聞「どろんこと太陽」を発行、園庭の開放等で情報提供され、利用開始時にも、説明・同意を得ていますが、事業所の変更等には課題が残されています。

Ⅲ-4-(1)(2): 一人ひとりに着目した指導計画は策定されていますが、アセスメントの見直し、保護者の意向把握と同意の手順や見直しについては、より工夫が求められます。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	くりくま保育園
施設種別	保 育 所
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成20年10月29日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1)発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2)健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	B
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

A-1-(1)①②: 保育計画は児童憲章等の趣旨をとらえ、子どもにとって心地よい生活を、働く保護者のみなさんが安心して預けられる保育園を目指して、策定、評価されています。

A-1-(2)①: 保育マニュアルにそって、健康の様子も日々把握し、必要に応じて関係職員に連絡する体制になっています。医療面の対応や、家庭との連携も図られています。

A-1-(2)-②: 定期健康診断は、年2回実施され、検診後の結果については、保護者にも伝達して、対応等考慮されています。

A-1-(2)③: 歯科検診の結果について、個々の保護者に伝達されていますが、家庭保育で反映されるような一般的な情報提供に関しては、今年度は未だ実施していないとのことです。

A-1-(2)⑤: 園庭で季節の野菜を作り、収穫し、食事への楽しみの工夫をされ、米、食材、調味料は産直の安全なものを設立時から利用され、安全で丈夫な身体づくりを心掛けておられます。

A-1-(2)⑥⑦: カレーのメニューはあえて外し、忙しい保護者が家庭では作りにくい、発達時の子どもに必要なメニューの取り入れ等の工夫をしています。

A-1-(2)⑧: 除去食の提供にあたっては、牛乳と卵を含まない手作りパンや工夫したおやつ等作り、アレルギー疾患をもつ子供にも医師の指示のもとで、適切な対応をされています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3)保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4)保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	B	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
A-1 子どもの発達援助		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

【自由記述欄】

A-1-(3)①②: 清潔で過ごし易く、五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)を育てるように一年中素足で過ごせる遊具、自然木の床材、園舎内外も安全に整備され、床暖房方式も取り入れています。

A-1-(4)①②: 子供一人ひとりの対応を原則とし、全面的に受容するようにし、集団生活(全体のルール)の中で、其々の居場所があるように、きめこまかく配慮されています。

A-1-(4)③④⑤: "子ども達が生き生きと育つ場所としての保育園"として、発達段階に応じた遊具や玩具を備え、牛乳パックや折込チラシ等廃物利用も行い、種々の取り組みが行われています。

A-1-(4)⑥⑦: 乳・幼児の交流を通しての思いやりや、お昼寝の布団敷き等の役割意識の中での発達を支え、外国人の入園時には、生活習慣や文化の違い等にも配慮されています。

A-1-(4)⑧⑨: 乳児には、月齢に応じ、「ピヨピヨ」「コッコ」「コケコッコ」と保育室・調理室等も整備され、十分に配慮されています。

A-1-(4)⑩⑪: 子どもにとっての家庭の食事の重要性や意義等を考慮し、長時間保育での軽食の提供は行われていません。障害児保育に関しては、保護者と合同で検討・配慮されています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	B	B
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当
A-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

【自由記述欄】

A-2-(1)①②: 保護者からは個人日誌、園から毎日クラス便りを発行し、成長期にあるクラスみんなの様子を含めた情報交換を行い記録され、1年間記録した冊子を一人ひとりに渡されます

A-2-(1)③: 「保護者と共に、子どもの最善の利益を追求し、人間性豊かに保育します」を方針とし、個人・クラス懇談等で子どもの育ち等の共有を心がけ、一緒に活動しています。

A-2-(1)④⑤: 児童相談所など行政との連携は取れていますが、園としてのマニュアル整備に課題が残されています。照会、通告などの連絡先は明示されています。

A-2-(2)①: 今は、一時保育をされていませんでした。

A-3-(1)①②: 調理場等の衛生管理は適切ですが、老朽化に伴い、現在改修工事が行われていますので一層期待されます。食中毒に関するマニュアルの見直しや研修の充実が望まれます。